

【多々良沼公園】指定管理者候補者及び選定結果等

1 指定管理者候補者及び選定結果

(1) 公の施設の名称及び所在地	多々良沼公園 館林市松沼町地内外
(2) 応募団体数及び名称 (主たる事務所の所在地及び市町村名)	2 団体 1 JA邑楽館林千代田町緑化組合 (邑楽郡邑楽町狸塚377番地5) 2 館林邑楽造園事業協同組合 (館林市岡野町231番地)
(3) 指定管理者の候補者の名称、主たる事務所の所在地及び代表者の氏名	JA邑楽館林千代田町緑化組合 邑楽郡邑楽町狸塚377番地5 組合長 高橋 修一
(4) 指定の期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日
(5) 候補者の選定理由	管理運営方針、経済性・収支計画、サービス等の向上、県民との協働、専門知識・経験、団体との協働、イベントの企画推進に関する提案について、他の申請者より優れているため。

2 選定基準・審査結果等

大項目	中項目	審査内容	配点	候補者以外の団体(得点順)		
				候補者(団体1)	団体2	団体3
公益性	管理運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的に合致した基本方針となっているか。 ・公園を管理運営するにふさわしい理念・運営方針をもっているか。 ・県民の平等な利用が確保される内容となっているか。 ・労務管理が適正か。 ・労務関係、法令遵守を正しく理解しているか。 	12	7.2	6.5	
経済性	経済性 収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者の経営状況 ・労務管理を踏まえた指定管理料 ・指定管理料の有効活用が図られているか。 ・収支と事業計画が整合しており、実現可能な計画であるか。 	10	7.0	5.1	

効果性	サービス等の向上・広報・広聴	<ul style="list-style-type: none"> ・県民サービスの向上に資する計画になっているか。 ・民間等のノウハウの活用等など、指定管理者導入の主旨を活かした質の高いサービスの提供を実現できるか。 ・利用者増加のための取組があるか。 ・自主事業は具体的かつ実現性の高い提案がされているか。 ・利用者の要望や苦情に対する対応は適切か。 ・広報に関する広範なノウハウ・情報を有しているか。その取組は具体的か。 ・利用者ニーズの把握方法は具体的かつ実現可能か。 	18	9.9	8.5	
	県民との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・広範で多様な主体が関わる公園運営計画となっているか。 ・県民やボランティアと協働を推進できる計画になっているか。 ・ボランティアの受け入れ態勢が確保され、対象が広範か。 ・協働のためのコーディネートができる職員を配置しているか。 	10	5.3	4.2	
安定性	維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・適正かつ確実な維持管理が実施できる内容となっているか。 	8	4.5	4.3	
	組織運営 組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者責任が明確であり管理体制が整っているか。 ・適切で十分な職員配置か。 ・職員の育成・研修は十分か。 ・採用確保方針は適切か。 ・安定した管理体制を提供できる経営基盤が構築されているか。 	3	1.6	1.4	
	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理期間を通じた人材育成計画が適切なものか。 ・育成方法、取得資格目標等は適当か。 	3	1.7	1.9	
安全・安心	情報管理	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護、機密保持義務に対して対策は十分か。 	2	1.3	1.3	
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事故、災害発生時等の危機管理体制はあるか、対応方針は十分か。 ・日常の安全対策についてリスクを想定し具体的な対策を講じているか。 	2	1.3	1.1	
	環境管理	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に配慮した管理運営となっているか。 ・廃材処理等について、リサイクル、リデュースなどについての配慮があるか。 	2	1.3	1.3	

安定性	専門知識・経験	・植栽管理の実施にあたって、希少種の保全についてどのくらいの知識を有し、どのように適切に対処するか。 ・日本遺産「里沼」に認定されたことも踏まえ、多々良沼の自然環境を生かし、どのような自然再生・保全活動、環境学習活動を実施するか。ただし、現状以上の施設ハード面の整備は前提としないものとする。	16	7.8	6.7
効果性	広報	・地域内外の人を呼び込むため、どのような情報発信をするか。	4	2.3	2.3
	団体との協働イベントの企画推進	・自然再生を前提とした公園管理をする上で、様々な団体とどのように協働関係を構築するか。 ・自主事業の実施やイベントの企画について具体的な提案があるか。 ・不法投棄や、長期の駐車車両について具体的な対策の提案があるか。	6	3.6	2.7
安全・安心	環境管理	・イベント開催時に災害が起こった場合の安全対策は適切なものか。	4	2.1	2.0
小計			100	56.9	49.3
現在の指定管理者が応募した場合の評価			±3	0	0
障害者雇用率加算			±3	0	0
合計			96～104	56.9	49.3

※備考

・採点は、選定基準ごとに選定委員会の各委員が募集要項に定める審査基準に基づき採点し、全委員8人の平均点（少数点二位以下切捨て）を得点とした。

3（参考）応募団体の指定管理料提案額

	応募団体の名称	指定管理料提案額
団体1	JA邑楽館林千代田町緑化組合	160,000千円
団体2	館林邑楽造園事業協同組合	167,200千円
団体3		
(参考)	指定管理料上限予定額	169,115千円

※ 候補者の指定管理料提案額が指定管理料上限額になるとは限らない。指定管理料上限額は11月補正予算で債務負担行為を設定し、指定管理者となる者との基本協定書で定める。

4 候補者としなかった理由

○ 団体2

(1) 団体の名称、主たる事務所の所在地及び代表者の氏名	館林邑楽造園事業協同組合 館林市岡野町231番地 代表理事 川島 良則
(2) 候補者としなかった理由	管理運営方針、経済性・収支計画、サービス等の向上、県民との協働、専門知識・経験、団体との協働、イベントの企画推進に関する提案について、他の申請者の方が優れているため。

○ 団体3

(1) 団体の名称、主たる事務所の所在地及び代表者の氏名	
(2) 候補者としなかった理由	